

「準ずる教育課程」小学部

小学部 1年生 道德教育 学習指導案

1. 主題名 「ありがとうをつたえよう」

内容項目 2 - (4)

資料名 こころのノート

2. 主題設定の理由

小学部1年生、2年生の低学年Iグループの児童3名は準ずる教科学習を行っているグループである。登校したら、自分から友だちや教師にあいさつをしたり、友だちから手紙やおみやげをもらったときに、ありがとうと伝えたりする姿が多く見られる。しかし、落としたものを拾ってもらったり日常生活で手伝ってもらった場面では、ありがとうを伝えられないときがある。そこで、ありがとうという言葉の大切さを学び、何かをもらったときだけでなく、何かをしてもらったときにも、自然とありがとうを伝えられるよう、本主題を設定した。

3. ねらい

- ・家族や身の回りの人への、感謝の気持ちを育む。
- ・「ありがとう」の言葉の大切さに気づき、自分から相手に伝えようとする態度を育む。

4. 展開 全2時間（本時1時間）

時配	活動内容	支援上の留意点	備考
(1) (7)	○あいさつをする。 ○自分が知っている「うつくしいことば」を記入する。	<ul style="list-style-type: none"> ・相手や自分が嬉しくなる言葉も書くよう伝える。すぐに思い浮かばない児童には、こころのノートの「あいさつは心のリボン」のページを参考にし、書けるようにする。 ・児童が発表した言葉は、どれも美しい言葉であることを伝えてから、本時で学習する言葉を発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・プリント ・こころのノート
(5)	○記入した「うつくしいことば」を発表する。		
(2)	○本時の学習課題を知る。		
<h3 style="margin: 0;">ありがとうをつたえよう。</h3>			
(15)	○こころのノート「ありがとうをさがそう」のページに、ある「ありがとう」を見つける。	<ul style="list-style-type: none"> ・見つけた「ありがとう」の場面に印をつけ、どんな場面があったか発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・こころのノート
(12)	○ありがとうと言われたときに、どんな気持ちになるか記入し、発表する。	<ul style="list-style-type: none"> ・いままで、どんなときにありがとうを言われたことがあるか、一緒に思い出しながら記入する。 	
(2)	○次の学習内容について知る。	<ul style="list-style-type: none"> ・家族や友だち、身の回りにいる人にありがとうをカードにまとめ、声にだして伝える学習に取り組むことを伝える。 	
(1)	○あいさつをする。		